

真理子先生の

女性の ミカタ

更年期 ⑦

真理子レディースクリニック
院長

伊藤 真理子

●(いとう まりこ)1986年山形大学
医学部卒業。山大病院、篠田総合
病院を経て2005年6月に真理子レ
ディースクリニックを開業。日本産科
婦人科学会認定産婦人科専門医。



これまで更年期障害が
起きる機序や様々な症例
を解説してきましたが、
今回は更年期障害の治療
についてお話しします。

基本はホルモン補充療法

治療の基本は「ホルモ
ン補充療法」です。更年
期障害は女性ホルモンの
分泌が減ることによって

生じることから、不足す
る女性ホルモンを補う療
法です。飲み薬、貼り
薬、塗り薬があり、患者
さんによって種類と方法
を使い分けます。

この療法によって様々
な症状が緩和され、特に
上半身の火照りや汗と共
に動悸や息切れが起こる
「ホットフラッシュ」に
は有効とされます。

またこの治療は更年期
障害だけでなく、本来の
閉経前に卵巣を摘出され
た方、早く閉経された早
発閉経の方、脂質異常や
骨粗しょう症の予防にも
効果があります。

不向きな方も

ただ女性ホルモンだけ
を長期に投与すると子宮
内膜が厚くなり、子宮体
がんのリスクが高まって
しまいます。そのため通
常は女性ホルモンと黄体
ホルモンを併用します。

また子宮を摘出された
方の場合、乳腺への影響
がより少ない女性ホルモ
ンだけを補う方法を行
います。
中には治療に不向きな

方もいらつしやいます。
子宮や乳房のがんを過去
に患ったことがある方、
脳梗塞や心筋梗塞の方な
どで、左に詳細を示しま
した。

ホルモン補充療法の禁忌と慎重投与症例

【禁忌】絶対だめ

- 乳がん(※)
- 子宮体がん
- 原因不明の不正性器出血
- 静脈の血栓症
- 脳梗塞や心筋梗塞(※)
- 重度の活動性肝疾患
- 妊娠中

※現在も過去も

【慎重さが求められる方】

- 肥満
- 血栓症のリスクがある方
- 子宮体がんや卵巣がんの既往
- 子宮筋腫、内臓症、腺筋症の既往
- 片頭痛やてんかん
- 重症の糖尿病、高血圧、脂質異常症
- 肝臓、胆嚢疾患など
- 60歳以上又は閉経後10年以上の方
- その他

まずは医師に相談を

ホルモン補充療法以外
では、漢方薬で驚くほど

薬になる方もいます。精
神神経症状が強い方には
抗うつ薬や抗不安薬が効
果を発揮することもあり
ます。
「この症状、ひよっと
して更年期障害？」と
思ったら、まずは気軽に
お近くのクリニックに相
談しましょう。我慢して
不快な毎日をごすのは
もったいないですよ。

〈産婦人科〉

真理子レディースクリニック

☎023-632-0666 山形市小姓町6-35

●受付時間

【平日】午前/8時30分～12時
午後/14時～17時
【木曜】午前/8時30分～11時
【土曜】午前/8時～11時

●休診日

日・祝祭日
木・土曜日は午後休診となります。

